

## 「第28回環境教育・環境学習ネットワーク会議」議事録

- 1 日時：平成31年3月8日（金） 15:00～17:00
- 2 場所：横須賀市消防局庁舎3階第3会議室
- 3 出席者：高橋弘二座長、桐谷副座長、市下構成員、内船構成員、高橋正明構成員、橋構成員、奈良谷構成員、野崎構成員、堀井靖世構成員、（計9名）
- 4 事務局：環境政策部環境企画課（松尾課長、鈴木係長、大場主任、相澤）
- 5 傍聴者：なし

### ◆ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 報告
  - (1) 「横須賀かんきょうフォーラム2019」の開催結果について
  - (2) 平成30年度相互交流を生かした人材育成講座の実施結果について
- 3 議題
  - (1) 環境教育・環境学習マスタープラン年次報告書について
  - (2) 平成31年度環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について
  - (3) 環境教育指導者等派遣事業について

### ◆ 報告1 「横須賀かんきょうフォーラム2019」の開催結果について

〔事務局からの説明〕

横須賀かんきょうフォーラムは、「環境活動団体や学校などの環境に関する取り組みを発表・展示することにより、一般市民にも活動を広く周知し、各主体間の交流も深める」ことを目的として、平成31年1月26日（土）に開催した。

概要については、資料1をご覧ください。

#### 高橋座長

今の報告に対してご意見やご質問はあるか。

#### 高橋正明構成員

「発表！私たちのエコ活動」の小学生の発表は元気があり、とても良かった。

なかでも、逸見小学校は天白先生の体験学習を元にその先に進めていて、体験学習がとても役に立っている。ここでももっと学習の機会を応援すると良いと感じた。

また、広がりが出る内容で非常に印象に残った。今回は、高校生の発表もあり良かったと思う。

#### 高橋座長

高校生の参加は初めてか。

#### 事務局（松尾課長）

初めてである。

### 高橋座長

「発表！私たちのエコ活動」は、申し込みのあった全ての学校、団体の発表なのか。または抽選なのか。

### 事務局（松尾課長）

全てである。

### 高橋座長

応募が多く、発表団体を選ぶために頭を悩ませるくらいになると良いと思う。

### 内船構成員

「横須賀いいね★エコ活動賞」の「功労賞」を受賞した団体「三浦半島昆虫研究会」は私と関連のある団体だが横須賀かんきょうフォーラムの翌日に博物館へ受賞の報告に来た。今回2回目の受賞だったが、非常に嬉しそうであった。

### 高橋座長

副賞はのぼり旗とポールだが、活動場所に立てておく時は良いが、移動する活動の際はポールが長いと感じた。

### ◆報告2 平成30年度相互交流を生かした人材育成講座の実施結果について

〔事務局からの説明〕

平成30年度人材育成講座は、平成30年11月20日（火）に港湾空港技術研究所を視察し、沿岸環境研究グループ長桑江朝比呂氏から「横須賀におけるブルーカーボンの活用」についての講義を聴き、その後、資源循環・廃棄物研究センターの研究棟を見学した。

詳細については資料2をご覧ください。

### 高橋座長

今の報告に関してご質問はあるか。

今日、欠席の高橋直人構成員から事前にいただいた感想の中で、「横須賀でも子どもたちのワカメの種付け、大人の刈り取り体験など養殖体験が行われている」とあるが、2月17日によこすか海の市民会議「よこすか海遊クラブ」でワカメの刈り取りを行ったが、今年、ワカメの生育は良くなかった。

先日、市民環境活動報告会があったが、江の島で体験活動をしている団体も同じことを言っていた。

原因は海水温が高かったのではないかとのことであるが、大きな周期の一部なのか、全体として温暖化が影響しているのかは短期的には判断できないとのことであった。

### ◆議題1 環境教育・環境学習マスタープラン年次報告書について

〔事務局からの説明〕

「環境教育・環境学習マスタープラン」は、上位計画である「横須賀市環境基本計画」の施策と併せて進行管理し、公表していくこととしている。

現在、年次報告書として公表に向けて作業を進めているのでその状況について説明する。

## 高橋座長

年次報告書として公表する資料について、ご意見やご質問はあるか。

## 高橋正明構成員

いくつか気になった点がある。

1点目は、資料3の3ページの「施策の方向」に「低炭素で持続可能なよこすか戦略プラン(2011～2021)に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます」とあるが、次のプランの計画の策定を始める頃になると思うが、パリ協定が進み低炭素から脱炭素になってきているので、次のプランの名称は脱炭素を前面にしたネーミングが良いと思う。

2点目は、資料3の7ページに「学校において太陽光発電等の新エネルギー施設を導入し、施設内の電力として使用するとともに環境学習に役立てた」とあり、学校名の記載があるが、横須賀市のプランであるため記載は市立の学校だと思う。

参考として横須賀市内にある他の学校(県立、私立)での導入状況を記載すれば、全体像が分かると感じた。

3点目は、資料3の15ページに「平成29年度の節電コンクールの応募数273件」と記載があるが、「横須賀市地球温暖化対策地域協議会で実施」を追記していただきたい。

## 高橋座長

資料3の3ページに記載の「市長によるシステムの見直し」とは具体的にどのようなことか。

## 事務局(松尾課長)

横須賀市環境マネジメントシステム(YES)の1年間の活動結果を踏まえ、翌年度に向けてシステムの見直しが必要な部分について市長から指示がある。

毎年3月に市長からの指示によるシステムの見直しを行い、翌年度のYESが効率的に運用できるよう、環境方針に基づいたYESを動かし活動していくことになる。

また、太陽光発電システムについては、市立以外の学校の設置状況は把握できていないが、今後、把握できるようであれば記載したい。

## 野崎構成員

資料3の16ページに「砂浜美化ボランティア活動の推進 里親ボランティアが海浜地の清掃を実施」と記載されている。

横須賀市の里親制度は色々な分野に分かれていて、環境に関連する里親ボランティア団体の活動実績の情報提供は行っていると思う。

里親ボランティアによる環境活動は、ここに記載の砂浜美化ボランティアの他にもあり、どのくらい行われているか分かると思うので、関係部署からの情報を集めて記載していただきたい。

資料3の8ページに「三浦半島国営公園の誘致 国への要望提出」と記載されていて、これまでも毎年「国への要望提出」となっているが、要望提出後の結果や国の対応、市は今後どうするのが分かるような記載があると良いと思う。

毎年提出して進んでいるのか、見込があるのかが分からないことが気になった。

### 事務局（松尾課長）

1点目の里親制度については、この記載は港湾部から提出された活動実績であり、馬堀海岸の清掃と思われるが、その他にも公園清掃なども里親制度を使って活動している団体もあるかと思うので市民生活課に確認し、記載できれば記載したい。

2点目の国営公園の誘致は、要望自体を続けていくことも大事であるが、その結果どうであったのか、記載できることがあるのか公園建設課に確認したい。

### 野崎構成員

里親ボランティアだが、具体的には芦名堰の里親、あるいは芦名堰のビオトープ再生実行委員会の延長で3つの環境活動団体が一緒になり長い間活動を続けている。

公園や自然などで活動している団体が色々あると思うので、その成果を結果として数字が書かれていると心強いと感じる。

### ◆議題2 平成31年度環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業について

〔事務局からの説明〕

平成31年度の相互交流を生かした人材育成講座の案についてご意見を伺いたい。

また、平成31年度「よこすかECO通信」の1面テーマについては、資料4に記載したテーマを考えているが、これについてもご意見を伺いたい。

### 高橋座長

ご意見やご質問はあるか。

環境活動者向けの講座として、「JAMSTEC横浜研究所」を提案しているが、こちらの目玉は何か。

JAMSTEC横須賀本部（夏島町）にはよく行くが、横浜研究所は違うことをやっているのか。

### 桐谷構成員

JAMSTEC横浜研究所に行ったことがあるが、スーパーコンピュータで世界中の環境、気象データの計算を見せていただいた。

### 事務局（松尾課長）

スーパーコンピュータがあり、温暖化対策に関連するデータを提供している。

一般公開では「しんかい」も公開していると思う。

講座の内容についてはこれから事務局で調整したい。

### 高橋座長

横須賀本部（夏島町）には行く機会があるので、横浜研究所は良いと思う。

いつ頃実施の予定か。

### 事務局（鈴木係長）

例年だと、秋以降になる。

## 桐谷構成員

横浜研究所に行く際には、聞きたいこと、知りたいことなどを絞ると良いと思う。

横須賀本部は見て楽しいものもあるので行って良かったとなるが、私は世界中の気象データを聞きたくて横浜研究所へ行ったが、あまり印象に残っていない。

事前に調べていただくのと、どのようなモチベーションで行くのかを整理すると良い。

## 事務局（鈴木係長）

スーパーコンピュータを使い、地球規模の気象予測を出していることがメインである。

見学施設内の大型スクリーンで見ることができるようだが、気候変動に特化している内容になるかと思う。

横須賀本部は船が見えるなど子ども向けのものもたくさんあるが、ホームページで見ると限り、横浜研究所は限定的なメニューの見学になると思う。

最近、気候変動の講座が多いので、違う講座が良いと言うご意見があればいただきたい。

## 高橋正明構成員

J A M S T E C 横浜研究所のホームページを確認したところ、研究課題が4つある。

- ①地球環境変動の統合的理解とその予測
- ②地球内部ダイナミクスの統一像の構築と地震・津波の防災研究
- ③生命の進化と海洋地球生命史
- ④資源研究・海洋地球生命工学の新たな展開

であるが、気候変動を第一候補としていくのが良いと思う。

## 高橋座長

事務局が提案の J A M S T E C 横浜研究所に行く場合、目的を持って行く必要があるので事務局で事前の調整をお願いしたい。

次に、教員向けの講座の場所が馬堀自然教育園となっているが、内船構成員いかがか。

## 内船構成員

2019年度の特別展示の事業として、「おいでよ馬堀の森 馬堀自然教育園 60周年記念の特別展示」が7月27日から11月4日にかけて博物館本館で開催する予定である。

博物館としても馬堀自然教育園を盛り上げていきたい中で、今回、教員向け人材育成講座の提案をいただいたので、チャンスとしてより多くの方に知っていただけるように講座を担当したいと考えている。

## 高橋座長

馬堀自然教育園で展示などはあるのか。

## 内船構成員

展示は博物館本館で開催し、予定では11月4日の本館での展示が終わった後に展示した一部を馬堀自然教育園に移設し、馬堀自然教育園を楽しんでいただけるような取り組みを進めていく。

### 高橋座長

事務局と内船構成員で時期も含めて進めてほしい。  
次に、よこすかE C O通信について、ご意見はあるか。

### 桐谷構成員

記事を企業側が書いても良いかもしれない。  
色々な会社でも環境に関する取り組みを行っていると思うので、市民の方に知っていただく機会としてE C O通信を使うのも1つの方法ではないか。  
できるかどうかは別途検討したいが、皆さんのご意見を伺い、検討してはいかがか。

### 高橋座長

別紙4-2を見ると、表紙はあるテーマについて記載され、3面は活動団体の紹介、4面は生き物図鑑となっている。

### 事務局（松尾課長）

今のご意見は次の議題にも関連するが、今後、市内の企業にも環境教育・環境学習へ協力いただくようコンタクトを取っていきたいと考えている。

環境教育指導者等派遣事業についても、企業にも働き掛け、企業でしかできないこと、企業の目線で考えていること、企業が行っていることなどについて、子どもたちに現場や講義を通じて見せることができないかと考えている。

また、よこすかE C O通信に企業のコーナーを作り、企業の活動を紹介することも検討していきたい。

### 野崎構成員

人材育成講座でも市民活動団体と企業の繋がりを作っていくとの話があったが、市民活動団体としては企業にどのように声を掛けたら良いか、どこに行ったら良いのか全く分からないので、よこすかE C O通信から企業の情報をいただくと窓口ができて良いと思う。

### 事務局（松尾課長）

「横須賀かんきょうフォーラム」では県立横須賀高校が活動の発表を行ったが、県立横須賀高校では市内企業とタイアップし、生徒が企業に行き色々なことを学習したり、テーマを決めて一緒に活動したりしていて、学校と企業の繋がりができ始めている。

こうした中で、行政と環境活動に携わっている企業、行政と高校などで関係を作れたら良いと思っているので、市民団体、企業、学校、行政がそれぞれどのようなことができるか検討を進めていきたい。

### 高橋座長

湘南国際村の活動も植樹中心になると思うが、企業が何社か参加して年3回の会議も開催されている。

### ◆議題3 環境教育指導者等派遣事業について

〔事務局からの説明〕

前回までの会議の中で、「環境教育指導者育成事業」において人材育成などを検討していきたいと説明してきたが、その前段階として、環境教育指導者の掘り起こしや企業による環境教室の導入について検討しているところであるが、これについてご意見を伺いたい。

#### 高橋座長

環境教育指導者は11名と人数が少ないが、実際は指導者に相当する人が結構いる。

その人たちが指導者となるために、現在活動をしている環境教育指導者から推薦してもらう方法を取り、人数を増やしていければと思う。

NPO法人三浦半島生物多様性保全の天白氏は適任だと思うが、環境教育指導者にはなっていない。

そのような人が他にも何人かいるので、環境企画課長に承認していただけるような人を我々から推薦していくのも1つかと思う。

企業による環境教室の導入は、企業がCSRとして色々な活動をしているが、市の環境教育指導者等派遣事業の一環として広めていきたいとのことであれば、企業と連絡を取り、この事業の中に企業も入っていくことが、今後の環境教育を広めていく手段になると思うので、ぜひ皆さんの協力をお願いしたい。高橋正明構成員いかがか。

#### 高橋正明構成員

私は、横須賀市地球温暖化対策地域協議会の環境教育・環境学習プロジェクトチームに入っているので、指名していただければ検討したい。

#### 事務局（鈴木係長）

横須賀市地球温暖化対策地域協議会の環境教育・環境学習プロジェクトチームは分かりやすい例として紹介させていただいたが。

事務局は同じ環境企画課ではあるが、横須賀市地球温暖化対策地域協議会として市から打診された時に受けるかどうかを検討することも必要だと考えている。

既に県が実施している「かながわ環境教室」に横須賀市地球温暖化対策地域協議会は登録していると思う。

現在、環境教育指導者等派遣事業実施要領では、環境教育指導者は個人しか登録できないが、団体や企業も登録できるよう、要領を見直すことも考えている。

指導者の人数やテーマを増やし、学校からもっと声が掛かるような仕組み作りをしていきたいと思う。

#### 高橋座長

橘構成員、いかがか。

#### 橘構成員

環境教育指導者の愛称については、親しみやすい名前が付くと良いと思う。

資料5の事業の概要に「小中学校や町内会等へ派遣する」と記載されているが、高校や幼稚園、保育園、こども園にも声を掛ければ来ていただけるのか。

### 事務局（鈴木係長）

保育園へは既に「エコ育」として実施している。

### 橘構成員

幼児期は大切な時期なので、広がっていくと良いと思う。

### 高橋座長

最近は中学校からの派遣依頼がないが、中学校や高校の場合、クラスよりも部活又はサークルなどから声が掛かる方がやりやすいと思う。

### 市下構成員

環境教育指導者の愛称については、思いつかずに手が止まっている。

色々な意見があると思うが、「指導者」のようなニュアンスであれば、呼んだ方も教えてもらえる、お任せできるような部分が持てると思う。

勉強していないとお呼びしても上手くいかなくなるよりは、呼んで上手くお任せできるのを醸し出していけると呼ぶ方も呼びやすくなると感じた。

周知の方法も工夫していくことで小学校や中学校での活動の場が増えていくと思う。

### 高橋座長

奈良谷構成員は学校に呼ばれて授業を行っているが、いかがか。

### 奈良谷構成員

学校から呼ばれる時は、知り合いの先生から連絡がある。

指導者と言うよりは、サポーターとして先生の補助をする場合、又は、授業を任せられる場合の2種類がある。

また、「安全衛生」の分野では色々な企業との会合はあるが、「環境」の分野で企業が集まる場はないので、一度、色々な企業が集まり、「環境」について話し合うのも良いと思う。

企業も「環境」に対して手を挙げて取り組み、PRしたいと思っているのではないか。

### 事務局（松尾課長）

横須賀市には、港湾空港技術研究所、国土技術政策総合研究所、電力中央研究所、JAMSTECなどの研究機関が多くあるのでコンタクトを取っていきたい。

先日、電力中央研究所では市役所職員を対象とした施設見学会が行われたので、こうした繋がりを持てるようにしていきたい。

### 桐谷構成員

先程の奈良谷構成員の話で面白いと思ったのだが、「安全」と「環境」があるが、「安全」は横の繋がりがすごくあり、そのネットワークの中で情報交換をしたり、新しい仕組みを考えたりしている一方で、「環境」は他の企業や事業者との関わりがあまりない。

日産自動車(株)では、国際規格ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得し外部の指導が入り、カチッとしたものが会社内でできている。

「安全」に関してはそのような規格はあまりなく、独自でやっているところもあり、社内と社外、「安全」と「環境」は全然違う枠組みの中で動いている。

「環境」も繋がりができると、全然違うものが生み出される可能性があると思う。

#### 奈良谷構成員

「安全」に関しては、企業と企業の横の繋がりが良くできている。

お互いに企業を見学したり、研修会を頻繁に開催している。

#### 桐谷構成員

「安全」は厳しくやっているかと思うが、横の繋がりを楽しみながらやっているが、「環境」には横の繋がりが無い。

#### 奈良谷構成員

「安全」は労働基準監督署の職員も参加し、堅い話もあるが、繋がりを持ちながら情報を共有している。

#### 高橋座長

企業では経済優先の大前提に「安全」があるので、安全を無視することはできない。

#### 高橋正明構成員

資料5の3事業内容(案)「(1)環境教育指導者等の掘り起し ②希望者が一定人数揃ったら」と記載があるが、希望者+テーマを広げる観点も入れていただきたい。

同じテーマで人数が増えても同じことになるので、テーマを広げてその中で人数を揃える観点が大事と感じた。

#### 高橋座長

色々なご意見がでたが、最後に先程桐谷構成員からお配りした資料の説明をお願いする。

#### 桐谷構成員

昨年末に国営昭和記念公園内(東京都立川市)にある富良野自然塾東京校に伺い、非常に面白い環境体験プログラムを体験したので紹介する[内容について紹介]。

### ◆その他 事務局から事務連絡

#### 事務局(松尾課長)

環境企画課では「環境基本計画」、「低炭素で持続可能なよこすか戦略プラン」、「環境教育・環境学習マスタープラン」の3つの計画を所管しているが、いずれも平成33年度に向けて見直し又は新計画策定を平成31年度の秋頃から着手していく予定である。

環境審議会でもご意見等を伺っていく予定であるが、「環境教育・環境学習マスタープラン」についてはこの環境教育・環境学習ネットワーク会議でもご意見を伺っていきたくと考えている。

今回はマイナーチェンジではなく、一度きちんと見直しを行い、5年先、10年先の横須賀の環境について考えていく計画にしていきたいのでご協力をお願いしたい。

### **事務局（大場主任）**

事務連絡が3点ある。

1点目は、本日の議題について追加のご意見等があれば3月15日（金）までに事務局へご連絡をいただきたい。

2点目は、環境教育指導者の愛称について案があれば事務局へご連絡をいただきたい。

3点目は、3月に発行予定の「よこすかECO通信第32号」について、後日、内容確認をお願いする予定なので、気になる点があれば、事務局へご連絡をいただきたい。

### **高橋座長**

以上をもって第28回ネットワーク会議を終了する。